

1.2024年度の事業概況

2024年度における当社グループの財政状態、経営成績およびキャッシュ・フローの状況の概要は次のとおりであります。
なお、当社グループは、2024年度より国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)を適用しており、2023年度の数値もIFRSに組
替えて比較分析を行っております。

(1) 財政状態および経営成績の状況

■ 当社グループの経営成績の状況は、次のとおりであります。

2024年度の世界経済は、欧米を中心に引き締めの金融環境ではあったものの、個人消費が堅調に推移した米国経済が牽引し、総じてみれば緩やかに成長しました。わが国経済は、物価上昇が続いたにもかかわらず、企業収益や雇用・所得環境が改善する下で、緩やかに回復しました。ただし、米国の通商政策の影響、物価上昇の継続、金融資本市場の変動等下振れリスクには依然として注意が必要な状況にあります。

このような経営環境のもと、2024年度における当社グループの業績は次のとおりとなりました。

保険サービス損益は、保険収益が4兆8,108億円、保険サービス費用が4兆2,268億円、再保険損益が△3,598億円となった結果、2023年度に比べて409億円減少して2,240億円となりました。また、金融損益は投資損益が2,816億円、保険金融損益が△1,535億円となった結果、2023年度に比べて1,709億円減少して1,280億円となりました。

以上の結果、保険サービス損益、金融損益にその他の損益を加減した2024年度の税引前利益は、2023年度に比べて2,227億円減少して2,865億円となりました。税引前利益に法人所得税費用などを加減した親会社の所有者に帰属する当期利益は、2023年度に比べて2,213億円減少して2,329億円となりました。

■ 当社グループの財政状態の状況は、次のとおりであります。

資産合計は、2023年度末に比べて1,503億円減少し、11兆5,490億円となりました。負債合計は、2023年度末に比べて2,204億円減少し、8兆5,722億円となりました。資本合計は、2023年度末に比べて701億円増加し、2兆9,767億円となりました。

■ 報告セグメントごとの経営成績の状況は、次のとおりであります。

[国内損害保険事業]

保険収益は、2023年度に比べて488億円増加して2兆6,344億円となりました。親会社の所有者に帰属する当期利益は、2023年度に比べて1,383億円減少して541億円となりました。

(単位: 百万円、%)

区 分	2023年度 (2023年4月1日から 2024年3月31日まで)		2024年度 (2024年4月1日から 2025年3月31日まで)	
	金 額	対前年増減(△)率	金 額	対前年増減(△)率
保険収益	2,585,678	—	2,634,478	1.9
親会社の所有者に帰属する当期利益	192,445	—	54,142	△71.9

(注) 1. 諸数値はセグメント間の内部取引相殺前の金額であります。

2. IFRSへの移行日を2023年4月1日とし、2025年3月期よりIFRSを適用しているため、2023年度の対前年増減(△)率は記載しておりません。

[海外保険事業]

保険収益は、2023年度に比べて1,755億円増加して2兆2,277億円となりました。親会社の所有者に帰属する当期利益は、2023年度に比べて826億円減少して1,777億円となりました。

(単位: 百万円、%)

区 分	2023年度 (2023年4月1日から 2024年3月31日まで)		2024年度 (2024年4月1日から 2025年3月31日まで)	
	金 額	対前年増減(△)率	金 額	対前年増減(△)率
保険収益	2,052,186	—	2,227,704	8.6
親会社の所有者に帰属する当期利益	260,402	—	177,787	△31.7

(注) 1. 諸数値はセグメント間の内部取引相殺前の金額であります。

2. IFRSへの移行日を2023年4月1日とし、2025年3月期よりIFRSを適用しているため、2023年度の対前年増減(△)率は記載しておりません。

■ 報告セグメントごとの財政状態の状況は、次のとおりであります。

[国内損害保険事業]

2024年度末のセグメント資産は、投資有価証券の減少などにより、2023年度末に比べて5,193億円減少し、6兆2,886億円となりました。

[海外保険事業]

2024年度末のセグメント資産は、投資有価証券の増加などにより、2023年度末に比べて3,714億円増加し、5兆2,430億円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

2024年度における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、利息の受取額の増加などにより、2023年度に比べて390億円増加し、4,781億円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出の減少などにより、2023年度に比べて3,688億円増加し、△1,207億円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、レポ取引及び他の類いの担保付借入の純増減額の減少などにより、2023年度に比べて1,259億円減少し、△3,358億円となりました。

以上の結果、2024年度の現金及び現金同等物の期末残高は、2023年度に比べて132億円増加し、8,762億円となりました。

2. 最近5連結会計年度に係る主要な財務指標

(単位: 百万円)

	IFRS		
	移行日 (2023年度期首)	2023年度	2024年度
保険収益	—	4,588,336	4,810,804
税引前利益	—	509,331	286,577
親会社の所有者に帰属する当期利益	—	454,270	232,926
親会社の所有者に帰属する当期包括利益	—	1,052,301	150,191
親会社の所有者に帰属する持分	1,954,635	2,889,487	2,958,355
総資産額	10,279,309	11,699,320	11,549,007
連結ソルベンシー・マージン比率	—	—	589.8%
1株当たり親会社所有者帰属持分	1,986.30円	2,936.30円	2,976.04円
基本的1株当たり当期利益	—	461.63円	236.67円
希薄化後1株当たり当期利益	—	—	—
親会社所有者帰属持分比率	19.0%	24.7%	25.6%
親会社所有者帰属持分利益率	—	18.8%	8.0%

(注) 1. 2024年度よりIFRSに基づいて連結財務諸表を作成しております。
2. 希薄化後1株当たり当期利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 2023年度の連結ソルベンシー・マージン比率については、IFRSに準拠して算出していないため記載しておりません。

(単位: 百万円)

	日本基準				
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
経常収益	3,307,376	3,578,973	3,959,774	4,311,986	4,770,251
正味収入保険料	2,923,547	3,215,713	3,670,717	3,690,419	4,016,599
経常利益	198,594	246,342	64,751	389,391	482,520
親会社株主に帰属する当期純利益	134,316	179,913	41,829	351,662	385,403
包括利益	337,107	208,392	117,364	860,136	188,984
純資産額	1,372,294	1,440,572	1,415,031	2,158,828	2,266,145
総資産額	9,073,486	9,640,953	8,974,306	9,954,033	10,319,472
連結ソルベンシー・マージン比率	729.6%	652.1%	513.1%	606.0%	—
1株当たり純資産額	1,382.04円	1,451.55円	1,422.15円	2,177.72円	2,261.82円
1株当たり当期純利益	136.49円	182.82円	42.50円	357.36円	391.60円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—	—	—	—
自己資本比率	15.0%	14.8%	15.6%	21.5%	21.8%
自己資本利益率(ROE)	10.4%	12.9%	3.0%	19.9%	17.6%

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 自己資本利益率(ROE)については、当期純利益/純資産額(期首期末平均)により算出しております。
3. IFRSを適用している海外連結子会社は、2023年度の期首から、IFRS第17号「保険契約」およびIFRS第9号「金融商品」を適用しております。これに伴い、2022年度については、遡及適用後の数値を記載しております。なお、2021年度以前に係る累積的影響額については、2022年度の期首の純資産額に反映させております。
4. 2024年度の日本基準に基づく連結財務諸表については、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査を受けておりません。
5. 2024年度の連結ソルベンシー・マージン比率については、日本基準に準拠して算出していないため記載しておりません。

3. 連結ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

区 分	年 度	2023年度 (2024年3月31日)	2024年度 (2025年3月31日)
(A) 連結ソルベンシー・マージン総額		3,589,804	3,622,922
資本金又は基金等の額		683,760	1,677,442
価格変動準備金(※)		104,378	—
危険準備金(※)		5,599	—
異常危険準備金(※)		525,110	—
一般貸倒引当金(※)		93	—
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益 (税効果控除前)		1,436,673	872,645
土地の含み損益		134,953	149,511
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額 (税効果控除前)		55,820	11,966
保険料積立金等余剰部分		—	—
負債性資本調達手段等		427,000	427,000
保険料積立金等余剰部分及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額		—	—
保険契約に関する会計基準差異に係る調整額(※)		—	—
在外子会社等に係る保険契約準備金評価差額金		—	99,761
少額短期保険業者に係るマージン総額(※)		47	—
控除項目		19,597	17,435
その他		235,963	402,031
(B) 連結リスクの合計額		1,184,574	1,228,430
$\sqrt{(\sqrt{R_1^2 + R_2^2} + R_3 + R_4)^2 + (R_5 + R_6 + R_7)^2} + R_8 + R_9$			
損害保険契約の一般保険リスク (R ₁)		427,963	436,812
生命保険契約の保険リスク (R ₂)		421	—
第三分野保険の保険リスク (R ₃)		—	—
少額短期保険業者の保険リスク (R ₄)		112	175
予定利率リスク (R ₅)		11,114	9,921
生命保険契約の最低保証リスク (R ₆)		—	—
資産運用リスク (R ₇)		713,856	739,350
経営管理リスク (R ₈)		29,911	30,955
損害保険契約の巨大災害リスク (R ₉)		312,741	330,083
(C) 連結ソルベンシー・マージン比率[(A) / {(B) × 1/2}] × 100		606.0%	589.8%

(注) 2024年度末の金額および数値は、保険業法施行規則第86条の2第3項および第88条ならびに平成23年金融庁告示第23号の規定に基づき、国際財務報告基準(IFRS)に従って作成した連結財務諸表に基づいて算出しています。なお、参照法令の変更に伴い、連結ソルベンシー・マージンの区分として追加・削除された項目に(※)を付しています。

◆連結ソルベンシー・マージン比率

- 当社は、保険業法施行規則第86条の2および第88条ならびに平成23年金融庁告示第23号第1条第2項等の規定に基づき、IFRSにより作成した連結財務諸表を基に、連結ソルベンシー・マージン比率を算出しております。
- 損害保険会社グループは、保険事故発生の際の保険金支払や積立型保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てていますが、巨大災害の発生や、資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- こうした「通常の予測を超える危険」(表の「(B)連結リスクの合計額」)に対して「損害保険会社グループが保有している資本金・準備金等の支払余力」(表の「(A)連結ソルベンシー・マージン総額」)の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたものが、「(C)連結ソルベンシー・マージン比率」です。
- 連結ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に、経営の健全性を判断するために活用する客観的な指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされています。
- 「損害保険会社グループが保有している資本金・準備金等の支払余力」(連結ソルベンシー・マージン総額)は、当社およびその子会社等の純資産(剰余金処分額を除く)、土地の含み損益の一部等の総額です。
- 「通常の予測を超える危険」は、次に示す各種の危険の総額です。

① 保険引受上の危険 (損害保険契約の一般保険リスク) (生命保険契約の保険リスク) (第三分野保険の保険リスク) (少額短期保険業者の保険リスク)	: 保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険(巨大災害に係る危険を除く。)
② 予定利率上の危険 (予定利率リスク)	: 実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
③ 最低保証上の危険 (生命保険契約の最低保証リスク)	: 変額保険、変額年金保険の保険金等の最低保証に関する危険
④ 資産運用上の危険 (資産運用リスク)	: 保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
⑤ 経営管理上の危険 (経営管理リスク)	: 業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～④および⑥以外のもの
⑥ 巨大災害に係る危険 (損害保険契約の巨大災害リスク)	: 通常の予測を超える損害保険契約の巨大災害(関東大震災、伊勢湾台風相当や外国で発生する巨大災害)により発生し得る危険

4. 保険子会社等および少額短期保険業者の 単体ソルベンシー・マージン比率

1 SOMPOダイレクト損害保険株式会社

(単位:百万円)

区 分	年 度	2023年度 (2024年3月31日)	2024年度 (2025年3月31日)
(A) 単体ソルベンシー・マージン総額		19,009	21,180
資本金又は基金等		15,593	18,185
価格変動準備金		9	19
危険準備金		11	11
異常危険準備金		4,024	3,944
一般貸倒引当金		1	0
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)		△631	△982
土地の含み損益		—	—
払戻積立金超過額		—	—
負債性資本調達手段等		—	—
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等 のうち、マージンに算入されない額		—	—
控除項目		—	—
その他		—	—
(B) 単体リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2}+R_5+R_6$		11,011	12,373
一般保険リスク (R ₁)		8,730	10,021
第三分野保険の保険リスク (R ₂)		—	—
予定利率リスク (R ₃)		12	11
資産運用リスク (R ₄)		1,391	1,434
経営管理リスク (R ₅)		358	399
巨大災害リスク (R ₆)		1,810	1,849
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率 $[(A)/\{(B) \times 1/2\}] \times 100$		345.2%	342.3%

(注) 上記の金額および数値は、保険業法施行規則第86条および第87条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

2 キャピタル損害保険株式会社

(単位:百万円)

区 分	年 度	2023年度 (2024年3月31日)	2024年度 (2025年3月31日)
(A) 単体ソルベンシー・マージン総額		10,921	11,254
資本金又は基金等		7,963	8,187
価格変動準備金		12	14
危険準備金		0	0
異常危険準備金		3,036	3,259
一般貸倒引当金		—	0
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)		△154	△358
土地の含み損益		—	—
払戻積立金超過額		—	—
負債性資本調達手段等		—	—
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等 のうち、マージンに算入されない額		—	—
控除項目		—	—
その他		63	150
(B) 単体リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2}+R_5+R_6$		1,025	1,084
一般保険リスク (R ₁)		843	818
第三分野保険の保険リスク (R ₂)		—	—
予定利率リスク (R ₃)		0	0
資産運用リスク (R ₄)		438	390
経営管理リスク (R ₅)		26	27
巨大災害リスク (R ₆)		48	150
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率 $[(A)/\{(B) \times 1/2\}] \times 100$		2,129.0%	2,075.9%

(注) 上記の金額および数値は、保険業法施行規則第86条および第87条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

3 Mysurance株式会社

(単位：百万円)

区 分	年 度	2023年度 (2024年3月31日)	2024年度 (2025年3月31日)
(A) 単体ソルベンシー・マージン総額		848	677
純資産の部の合計額(繰延資産等控除後の額)		801	596
価格変動準備金		—	—
異常危険準備金		47	81
一般貸倒引当金		—	—
その他有価証券評価差額(税効果控除前)		—	—
土地の含み損益		—	—
契約者配当準備金の一部(除、翌期配当所要額)		—	—
将来利益		—	—
税効果相当額		—	—
負債性資本調達手段等		—	—
控除項目		—	—
(B) 単体リスクの合計額 $\sqrt{(R_1^2 + R_2^2)} + R_3 + R_4$		120	185
保険リスク相当額		116	179
一般保険リスク相当額 (R ₁)		112	175
巨大災害リスク相当額 (R ₄)		4	4
資産運用リスク相当額 (R ₂)		8	7
経営管理リスク相当額 (R ₃)		3	5
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率 $[(A)/\{(B) \times 1/2\}] \times 100$		1,409.9%	731.7%

(注) 少額短期保険業者
上記の金額および数値は、保険業法施行規則第211条の59および第211条の60ならびに平成18年金融庁告示第14号の規定に基づいて算出しています。